



発行責任者 亀岡市立病院広報委員会

〒621-8585

京都府亀岡市篠町篠野田 1-1

TEL 0771-25-7313

FAX 0771-25-7312

<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/hospital/>

病院理念

- 急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供します。
- 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づいた患者さま中心の医療を行います。
- 地域医療機関と連携し、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み地域医療の向上に貢献します。
- 公共性と経済性を考慮し、市民の理解と信頼を得られる透明性のある病院運営を行います。

CONTENTS

ごあいさつ	1
第9回亀岡市立病院 認定看護師セミナー	2
亀岡市立病院 訪問看護ステーション	3
2023年度 リハビリテーション科の取り組み	4.5
2023年度亀岡市立病院 健康講座について	6
地域連携医のご紹介 編集後記	7
外来担当医表	8



ごあいさつ

新型コロナが5類に移行した後、初の年末年始を迎えた中で能登半島地震が発生し、多くの被害が報告されています。この原稿を書いている現在では、まだまだ被災の全貌が明らかとなっていないような状況で、多くの被災された方は不安な日々を過ごされていると思います。交通網の寸断、断水や機器の破損などで医療機関の機能が低下し、医療を提供できない状態であるなどのニュースを聴いて、神戸の病院に勤務していた際に経験した阪神淡路大震災の当時を思い出しました。さらに交通事情の脆弱な地方の事情が、被災の状況により大きな影を落としているように感じられます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

話は変わりますが、2004年6月に開院した亀岡市立病院は、皆様の期待と支援をいただき、おかげさまで今年6月、開院20周年を迎えることができます。住み慣れた地域、身近な人々のいる環境で医療を受けられるよう、適切で良質な医療を提供するという理念で、市民の皆様から必要とされる病院であり続けたいと考えております。

私が担当している整形外科は、高齢者の外傷や関節の加齢性の変形、骨粗しょう症の治療、一般的な骨折などの外傷など、地域で医療を受けたいと希望されることの多い診療科ではないかと考えております。開業医の先生など、地域の医療機関の方々と協力して診療を行っていきたいと考えております。

医療費抑制、医師不足、看護師不足、働き方改革など、医療環境を取り巻く情勢はますます厳しい状況にあります。100床という小規模な病院で、病院経営的には難しいとされる規模の病院ですが、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。



副院長 久保 恭 臣

外来担当医表 (令和6年3月現在)

診療科	月	火	水	木	金
消化器内科	うえ はら ゆきこ 上原 有紀子	しろ の たか お 城野 孝夫	上原 有紀子	—	こ やま ゆき 小山 友季
循環器内科	まつ き 松木 あゆみ	松木 あゆみ	—	松木 あゆみ	まつ お りょう へい 松尾 龍平
循環器内科 午後(予約)	—	松木 あゆみ	—	ふく い けん すけ 福居 顕介	—
一般内科	けい ら なつ や 計良 夏哉 (第1・3・5週) き むら たい こう 木村 兌弘 (第2・4週)	き むら ふみ こ 木村 史子 し むら ゆう じ 志村 勇司 (予約のみ)	松尾 龍平	まつ もと よう すけ 松本 洋典	木村 史子
神経内科	—	—	—	—	ふじ の ゆう ぞう 藤野 雄三
糖尿病内科 (予約)	—	やま もと しん た 山本 慎大	きた がわ のり ゆき 北川 功幸	北川 功幸	はま ぐち まさ ひで 濱口 真英
ペースメーカー 外来	—	—	—	—	松木 あゆみ (偶数月の第3週)
皮膚科	—	—	なか にし ま り 中西 麻理	—	た うら まい こ 田浦 麻衣子 (9時30分診察開始)
泌尿器科	—	担当医	—	担当医	—
外科1診	い むら けんいちろう 井村 健一郎	た なか ひろ き 田中 宏樹	田中 宏樹	よし い かず ひろ 吉井 一博	井村 健一郎
外科2診	担当医 (乳腺)	わた なべ あきら 渡邊 陽	—	—	—
外科 午後(予約)	担当医 (乳腺) 井村 健一郎 (肛門外来)	—	田中 宏樹 (乳腺)	—	—
麻酔科 (ハ ⁺ インクニック)	はし もと とも こ 橋本 朋子	—	—	—	橋本 朋子
眼科	みや たに たか ふみ 宮谷 崇史	担当医	—	宮谷 崇史	—
整形外科1診	く ぼ やす おみ 久保 恭臣	玉井 和夫 (予約)	なか せ まさ し 中瀬 雅司	久保 恭臣	中瀬 雅司
整形外科2診	かま だ よういちろう 鎌田 陽一郎	鎌田 陽一郎	鎌田 陽一郎	—	—
整形外科3診	たま い かず お 玉井 和夫	なり た わたる 成田 渉	—	—	—
小児科	てら まち しん じ 寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二
小児科 午後(予約)	寺町 紳二 (循環器)	寺町 紳二 (予防接種)	寺町 紳二 (予約外来)	寺町 紳二 (循環器・アレルギー)	寺町 紳二 (予約外来)

亀岡市立病院は、在宅で療養されている高齢者等を支援する京都府の在宅療養あんしん病院に登録しています。

亀岡市立病院

〒621-8585 京都府亀岡市篠町篠野田1-1
TEL 0771-25-7313 FAX 0771-25-7312
<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/hospital/>

JR馬堀駅から徒歩約5分/
京都縦貫道篠インターから車で約5分/
駐車(輪)場有





第9回亀岡市立病院認定看護師セミナー

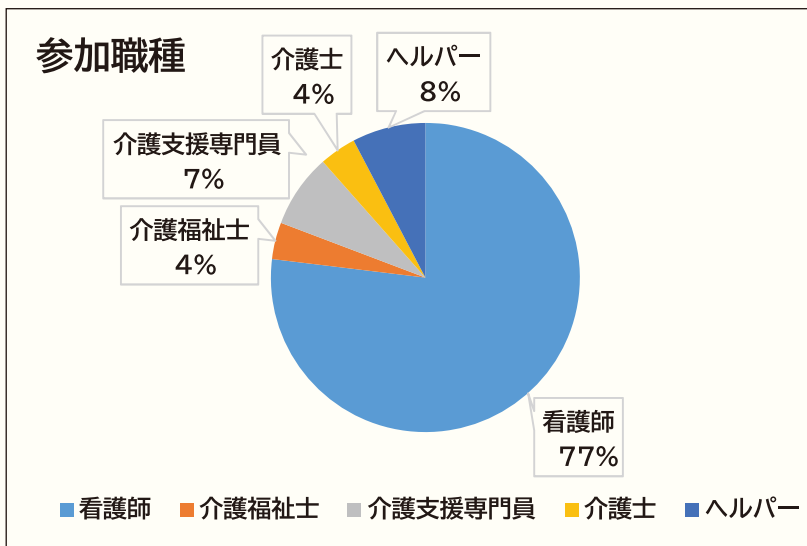
地域の医療・介護・福祉職の皆さまと共に学ぶセミナーは今回で9回目を迎えました！
京都府看護協会地区支部研修とコラボしてガレリアかめおか大広間を会場にハイブリット形式で開催しました。



2列目左から：看護部長、訪問看護認定看護師、がん化学療法看護認定看護師
1列目左から：認定看護管理者、口丹地区理事、皮膚・排泄ケア認定看護師、
認知症看護認定看護師

認定看護師は特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を有するものとして、
日本看護協会の認定を受けた看護師です。

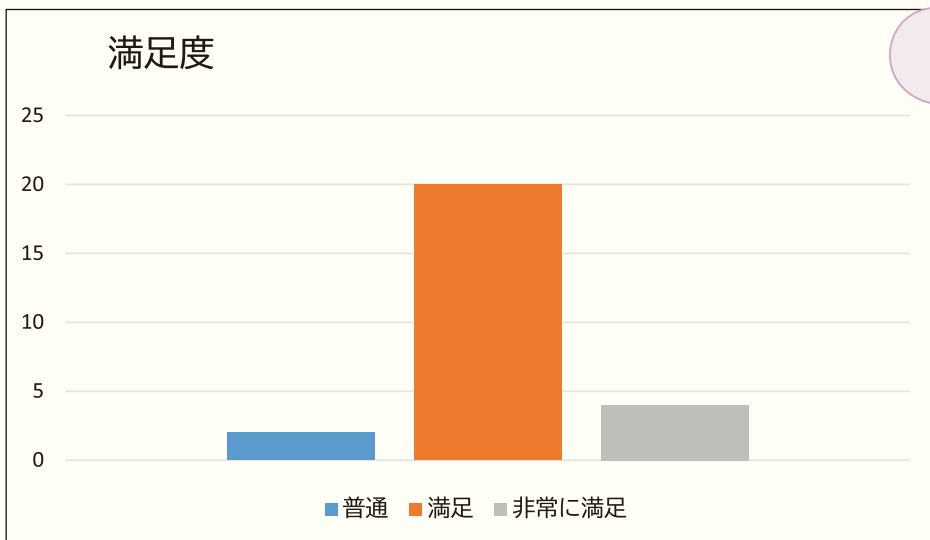
近年は病院内だけでなく在宅の関係者と連携して看護の質向上に寄与しています。



参加者の感想

認定看護師さんの研修を
楽しみにしています。
また参加したいです

顔の見える関係性・
日頃の連携に活かせる
意見交換ができました





亀岡市立病院訪問看護ステーション



地域みなさまにご指導いただきながら訪問看護ステーションは本格的に稼働を始めました！！

訪問看護実践!!



訪問診療医師と定例カンファレンス



専門性のある院内看護師にコンサルト

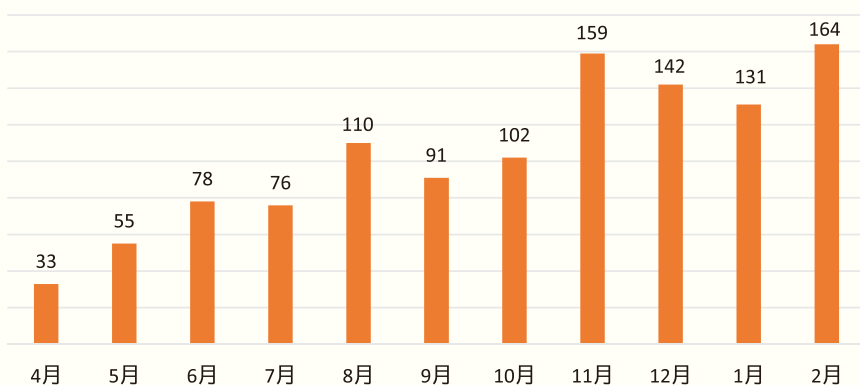


私たちは地域みなさまと連携・協働し、利用者の尊厳をまもります。

その人らしく住み慣れた場所で安心して過ごせるよう、専門性の高い看護を提供します。



訪問看護件数推移



利用ニーズ

- ・在宅看取りケア
- ・人工肛門管理
- ・インスリン注射
- ・尿管カテーテル
在宅酸素管理
- ・療養健康観察
- ・認知症ケア
- ・家族看護 など



2023 年度リハビリテーション科の取り組み

9月23日

市民健康講座 自宅での健康体操



新型コロナウイルス感染症の影響で、高齢者を中心に心身の機能低下が懸念されています。その予防・対策として、自宅で簡単に行える「ながら体操」を市民健康講座で発表しました。

「ながら体操」とはテレビを見ながらなど他の作業を行いながら行える体操のことをいいます。日常生活動作や家事動作中でも行えるため



習慣化しやすいのが特徴です。

参加いただきました方々が楽しみながら積極的に体操を行っておられ、改めて運動の大切さを再認識させていただく事ができました。

10月20日

京都府理学療法士協会南丹支部研修会第1回イベント参加



テーマは、最新福祉用具を見る・知る・触れること、同じ圏域内で活動されているセラピストの横のつながりを広げることを目的に、当院ウェルネスホールにて開催されました。

介護・福祉用具貸与事業者の協力のもと、最新の車いすや歩行器、介護用ベッドなどを持参していただき、その機能や特徴の説明を受け、体感しました。疾患や機能障害等のある方、その方々を介護する方にとって、介護・福祉用具は身体的・精神的負担を軽減してくれます。適切なものを選択・ご紹介できるよう、介護・福祉用具の知識を深めました。



12月9日

第28回亀岡市立病院健康講座 心臓病について

今回の健康講座ではリハビリテーション科からは運動のことについて、お話ししました。

心不全の方は年々増加傾向であり、日本人の死因で見ると心疾患は2番目に多く、身近な病気と言えます。運動には様々な効果があり、正しい方法で運動を実施することにより、心不全の増悪を防ぐことに期待ができます。

そこで今回は「心不全の方への適度な運動」について、具体的には FITT (頻度・強度・時間・種類) の項目ごとにお話ししました。熱心に運動を行ってくださったり質問していただくなど、運動に対する関心の高さを感じました。



2023年12月9日 亀岡市役所市民ホールにて、心不全をテーマに健康講座を開催いたしました。

当日は12月ということで寒い中にもかかわらず、50名を超える多くの市民の皆様にご参加いただきありがとうございました。



医師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士と様々な専門職からの講演でもあり、「構成の組立が素晴らしく、楽しく学ぶ事ができました」や「専門職に直接質問もできていい勉強になりました」などお声をいただくこともできました。



今後も当日ご記入いただいたアンケートをもとに新たなテーマ等を検討し、講演会を開催していく予定です。

今回参加してくださった方はもちろん、まだ参加したことがない方も今後の亀岡市立病院健康講座へ是非足をお運びください。



当院では、地域の医療機関と連携して、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み、地域医療の向上に貢献することを病院の基本理念として、患者様中心の医療を展開しています。

そこで、本院と関係の深い、地域の連携医療機関を順次紹介させていただきます。

地域連携医のご紹介

さかべ整形外科クリニック

院長：坂部 智哉

住所：〒621-0855
京都府亀岡市中矢田町久保垣内27-1

TEL：0771-56-9360

FAX：0771-56-9361

診療科目：整形外科・リハビリテーション科・
リウマチ科

診療時間：午前診療 9:00～12:00
(月・火・水・木・金・土)

午後診療 16:30～19:30
(月・火・木・金)

休診日／水・土曜の午後、日曜・祝日
(初診受付は19時まで)



医院より一言

2016年12月に開院してから7周年を迎えることができました。

この7年間で、関節鏡手術などの整形外科手術を治療の中心としていた亀岡市立病院での勤務医時代とは異なり、保存療法が中心の開業医としての治療方針に大きくスタイルチェンジしてきました。

現在、当クリニックでは、肩関節・肘関節・足関節などの軟部組織損傷やスポーツ傷害に対しては、積極的にエコーを用いた診断を行い、経時的な修復をエコーによって評価して治療の指標としています。

また、DEXA法による骨塩定量検査で骨粗鬆症を早期に発見し、骨粗鬆症と骨折予防の重要性を啓蒙するとともに、必要に応じて適切な薬物療法を行い、骨粗鬆症による骨折の予防に努めています。さらに、肩関節・膝関節を中心とした関節疾患に対しては理学療法を、頸椎・腰椎などの脊椎疾患に対しては物理療法などを行うことで患者さんのADLを維持・改善させることに努めています。

今後も亀岡市の地域医療を支えていくために、今まで以上に亀岡市立病院とは円滑な病診連携をとっていきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願い致します。

編集後記

はじめに、令和6年1月1日に発生しました能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、寒暖差の大きい日々が続いており、春の気配が近づいているような季節となってきましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今回もたくさんの方々のご協力により、広報誌「桔梗34号」を発行することができました。関係者や当広報誌を愛読してくださっている方々に、心より感謝を申し上げます。

今回の広報誌の記事でも、様々な記事があり

ましたが、お楽しみいただけましたでしょうか。私も知らないことが多く、広報活動しながら勉強中です。

当院では、当広報誌をはじめ、ホームページや市立病院公式Facebookなどで、情報を発信しております。皆様が当院を身近に感じていただけるように、当院の取り組みを紹介していこうと思っておりますので、是非ご覧いただければ幸いです。

広報委員会事務局

生 沢 翠
(病院総務課)



市立病院公式Facebookはこちらから！
(ぜひページ・記事への「いいね！」をよろしくお願いします！)